



大原小だより NO13

美作市立大原小学校 令和 4.11. 18 (金)

発行文責 校長 金島久美子

《学校教育目標》

自らの考えをつくり、協働しながら活動し、社会に貢献できる素地を育てる
「主体」「協働」「挑戦」



1 育てたい心・主体・協働・挑戦



跳ぶ



挑戦：自高力：今までの自分よりもっと高く



速く

11月2日(水)陸上記録会(5・6年)

自分で種目を決め、ソフトボール投げ、ハードル走、走り幅跳びに挑みました。

「挑戦」の中の「自高力」です。

【自高力】とは、自分自身がよりよくなるために、今していることを調整・修正しながら続けたり、新しいことを始めたりする力のことです。

2 祝 おめでとうございます。祝

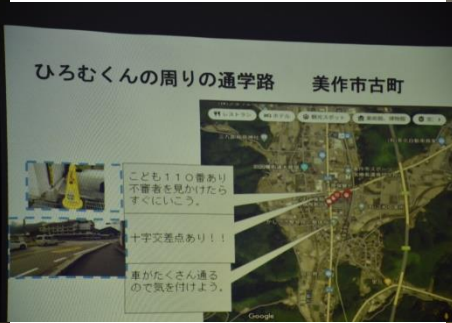
11月6日(日)美作市・西粟倉村教育委員会
主催「明るい家庭づくり作文」表彰式

1年生 大西はるきくん 優秀賞!
大西君は、自分で「挑戦」の心だと言えました。「自高力」です。



12月2日(金)美作警察署
善行少年表彰大原小学校自転車チーム

自転車大会優勝までの努力とともに
その後の自転車安全マップの取組が評価されました。挑戦の心のなかの「学高力」地域に貢献する「社高力」です。



3 育てたい心・主体・協働・挑戦

主体

自分事として考え、
自分の意思で行動する力

○「自分の役割」だと考え、主体的に取り組んだ1年生。
1年生も、「主体の心です。」
「学高力です。」と答えました。



自向力
自分と向き合う

『自向力』とは、
自分自身と向き合
い、自分のよさや
課題を見付ける力
のことである。



- ・自分が感じていること、考えていることを自覚することができる。(自己理解)
- ・自分がわかっていること、わからないことは何かについて自覚することができる。(自己理解)
- ・自分のよさを見付けることができる。(自己肯定)
- ・自分の課題に気付くことができる。(課題発見)

1年生
あきやまくん
さとうくん
はるなくん
毎朝、朝のスクールバスのあいさつ運動をすることを決めました。

毎朝、したいことがあっても、時間になったらバスをむかえ、大きな声であいさつをしました。

協働

共通の目的に向かって
他者と協力して活動する力

○上記を受けて、4年生の主体的な取組がありました。



他向力
他者と向き合う

『他向力』とは、
他者の思いや考
えに目を向け、耳
を傾け、多様性
を受け入れる力
のことである。



- ・他者の思いや考えを聞くことができる。(受容)
- ・他者の考えのよさに気付くことができる。(他者肯定)

共通の目的達成のために、他者の立場に立って考えることできる。(他者理解)

・「今までは、早便の井本くんたちがあいさつ運動をしてくれた。」

『他行力』とは、共通の目的に向かって、自分の役割を担ったり、互いに補完し合ったりして行動する力のことである。

・「今までは、井本たちがくんがあいさつ運動をしてくれたから、11月からぼくたちがする。」

4 地域の方から

○津山市の株式会社マルイ様のマルイ・エンゲージメントキャピタル様から、本校図書室の充実のために、図書券 66,000 円分を頂きました。大事に使わせていただきます。

○大原地内の株式会社モリナリー様・津山法人会様から、租税教室の絵葉書コンクールに参加した6年生に、サッカーボールを頂きました。ありがとうございます。